

第64回全国スポーツ推進委員研究協議会

- 1 期 日 令和5年11月16日(木)～17日(金)
- 2 会 場 1日目<開会式、表彰式、講演、シンポジウム>
・リンクステーションホール青森
2日目<分科会>
・リンクステーションホール青森(第1分科会)
・リンクモア平安閣市民ホール(第2分科会)
- 3 主 催 スポーツ庁、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合、
青森県スポーツ推進委員協議会、青森県、青森市
- 4 主 管 第64回全国スポーツ推進委員研究協議会青森県実行委員会
- 5 大会テーマ「スポーツで煌めく笑顔のために」～青い森から縄文の風に乗って全国へ～



6 内容

【1日目】11月16日(木)

○歓迎アトラクション 12:00～

青森県立青森工業高等学校ねぶた部 青森ねぶた囃子
五所川原第一高等学校津軽三味線部 津軽三味線演奏

○開会式 12:30～13:00

- | | | |
|-------------|----------------------|-------|
| (1) 開会の言葉 | 青森県実行委員会委員長 | 目澤 伸一 |
| (2) 挨拶 | スポーツ庁スポーツ総括官 | 先崎 卓歩 |
| | 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合会長 | 阿達 雅志 |
| (3) 歓迎のことば | 青森県知事 | 宮下宗一郎 |
| | 青森市長 | 西 秀記 |
| (4) 登壇者紹介 | | |
| (5) 次期開催地挨拶 | 宮崎県スポーツ推進委員協議会会長 | 岡本真奈美 |

○表彰式 13:00～13:40 (富山県受賞者11名・1団体、感謝状2名)

- | | | |
|---------------------------|----------------|------------|
| (1) 文部科学大臣表彰 | 越生百合子(高岡市) | |
| (2) 全国スポーツ推進委員連合表彰 | | |
| ・優良団体表彰 | 朝日町スポーツ推進委員協議会 | |
| ・スポーツ推進委員功労者表彰 | 赤池 伸彦(南砺市) | 北田 悦子(高岡市) |
| ・30年勤続スポーツ推進委員表彰 | 中野 悦子(入善町) | 武部真由美(富山市) |
| | 安田 幸之(氷見市) | 大橋喜美子(高岡市) |
| | 秋濃 作二(富山市) | 松井紀代美(上市町) |
| | 砂田 正(富山市) | 杉岡 毅(射水市) |
| (3) 全国スポーツ推進委員連合賛助会員感謝状贈呈 | 山田 純一(砺波市) | 新田 敏雄(朝日町) |

○講演 13:40～15:00

講師 福士 加代子 氏(オリンピック4大会連続出場)

テーマ 「笑って走れば福来たる ～私が笑顔で走り続けてきた理由～」

日本女子長距離界、マラソンを牽引してきた地元青森県出身の福士氏が、「笑顔で走る」をテーマに、自身の競技者、指導者としての経験をもとに、大変分かりやすくユーモアたっぷりに講演され



た。後半では、自身が企画と運営に携わり、初めて主催したランイベント「笑って走れば福来る駅」について動画を用いながら、走ることの楽しさを伝える活動を紹介された

○スポーツ庁からの情報提供 15:20～15:35



○シンポジウム 15:35～16:55

テーマ 「コロナ禍を超えたコミュニティスポーツの新しいかたち」
コーディネーター 石澤 伸弘 氏（北海道教育大学 教授）
シンポジスト 村山 敏夫 氏（新潟大学人文社会教育科学系列 准教授）
伊藤 恵造 氏（秋田大学教育文化学部 准教授）
目澤 伸一 氏（青森県スポーツ推進委員協議会 会長）

新型コロナウイルスの感染者の減少に伴い、感染症法上の位置づけが変更され、日常生活が戻りつつある。この間、公共スポーツ施設の閉鎖やスポーツイベントの中止など、地域スポーツ推進は停滞せざるをえなかった。また、3密の回避から運動やスポーツ活動は個別化が進み、スポーツとコミュニティとの関係性も希薄化しているようである。一方、第3期スポーツ基本計画が策定され、多様な施策が展開されるとともに、総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度や学校運動部活動の地域移行が動き始め、地域スポーツは新しいステージを迎えている。本シンポジウムでは、変容しつつある地域スポーツの仕組みをめぐる課題や期待されるライフスタイル等について、各分科会において研究協議を深めていくために、村山氏、伊藤氏、目澤氏、それぞれの立場から意見発表・意見交換を行った。

○富山県表彰伝達式・情報交換会 18:30～20:30

会場：ホテル青森

参加者：86名



【2日目】11月17日（金）

○分科会 9:45～11:45（第1・2分科会）

【第1分科会】 リンクステーションホール青森

テーマ「スポーツが高齢社会で実現できること」

コーディネーター 村山 敏夫 氏（新潟大学人文社会教育科学系列 准教授）
発表者 田中 博男 氏（マスタース陸上世界記録保持者）
河原木 浩 氏（全日本マスターススピードスケート銀メダリスト）
五戸 秀樹 氏（公益財団法人青森県老人クラブ連合会 常務理事）

スポーツ実施率の向上による健康寿命の延伸は、ますます重要な政策課題となっており、第3期スポーツ基本計画の重要な柱となっている。また、人生100年時代における高齢者の健康増進を支える仕組みづくりの検討は、高齢者の新しい地域生活の提案でもある。本分科会では、高齢者の豊かな地域生活を支える健康づくりの仕組みや運動・スポーツとのかかわり方について意見交換をするとともに、スポーツ推進委員の取り組むべき課題を探った。



【第2分科会】 リンクモア平安閣市民ホール

テーマ「地域とスポーツがつながるために」

コーディネーター 伊藤 恵造 氏（秋田大学教育文化学部 准教授）

発表者 正木 昌宣 氏（青森山田高等学校男子サッカー部 監督）

仲井 宗基 氏（八戸学院高生高等学校硬式野球部 監督）

小嶋 徹也 氏（青森スポーツクリエイション株式会社アカデミー事業部
アカデミーディレクター（青森ワッツ U-15 コーチ））

地域スポーツ推進政策の柱である総合型地域スポーツクラブは、その質的向上を図るため、登録・認証制度が開始され、学校運動部活動の地域移行をめぐっては受け皿としての役割も期待されている。これら新しい取り組みが生み出す地域スポーツの仕組みは多様であり、連絡調整の働きが重要になると思われる。本分科会では、地域スポーツ推進を促す多様なクラブの取り組み事例を共有するとともに、地域の特性を活かした仕組みづくりにおけるスポーツ推進委員の役割を探った。

※研究協議会には全国から約 2,700 名、富山県からはスポーツ推進委員及び市町行政担当者あわせて 86 名の参加があった。